

## まえがき

本書の著者、林雄次と申します。

現在は社会保険労務士（社労士）を中心とした業務を行う士業事務所を運営していますが、数年前までは会社員として働いていました。その会社は、割とハードな働き方として知られており、またIT関連の仕事であったこともあって、当時は時間的な余裕のない毎日でした。でも自分で好きなことをやりたいと考え、当時既に持っていた社労士資格を活かして副業をはじめました。資格取得で身につけた、効率的な時間の使い方などのノウハウも使い、思いのほか順調に進めることができたため、2年ほどの兼業期間を経て、独立し現在に至ります。

仕事で学んだITもフル活用したことで、事務所は順調に拡大。副業として事業をはじめた2018年は、顧客数10社・売上300万円ほど。それが翌2019年には5倍の1500万円、さらに2020年にはもう3倍の4500万円と大きくなりました。おかげさまで、その後も堅調に進んでいます。その過程では、社労士資格やIT系資格だけでなく、趣味として取得していたいろいろな資格の幅や組合せが役に立ちました。

こうして、士業として仕事をしながら、趣味と実益を兼ねて資格取得も続けるようになりしました。当初は「保有資格が100を超えて3桁になったら話題になるかな」と思っ  
て頑張っていたのですが、勢いがつくと止まらなくなるもので、気がいたら**400**を  
超えてしまいました(本書発行時点。246頁参照)。さすがに自分が持っている資格  
を覚えきれなくなりつつあるので、少しペースを落とそうかなとすら思っています(笑)。

単に保有資格の数が多いだけではなく、実際に活かしていることもあってか、最近で  
はメディアに取り上げていただく機会も増えました。昨年頃から、ビジネス系雑誌での  
資格特集によく載せていただいています。NHKや民放のラジオで資格のお話をしたり、  
ウェブメディアでは連載記事を書いていたりします。

ここで、保有資格についても簡単にご紹介しましょう。すべてお話すると分量が大変  
なことになりますので、かいつまんでご紹介します。

もともと、ITのキャリアが長いこともあり、情報処理技術者試験では最難関と言わ  
れるシステム監査技術者、ITストラテジストなど、ほぼすべてに合格しています。

また、本業である**士業**関連は、中小企業診断士、社会保険労務士、行政書士に合格し、

実際の業務にも就いています。

さらに、宅建士をはじめとした**不動産**系の国家資格では、資格学校や企業での講義も行っています。他にも、防災士やFPなど、さまざまな資格が日々の生活に役立っています。

これらのように、直接的に役に立つような資格ばかりではありません。**食べ物やお酒**に関する資格は、ちょっとした話のネタになります。ソムリエとして料理に合うワインを選べば喜んでもらえるものですし、おにぎり検定や唐揚げ検定などは名刺に記載している資格の中でも注目度が非常に高いです。

なお、私が取得・保有している資格のなかで、最も特筆すべき変わったものが「**僧侶**」資格です。これについては本書の第4章にて、取得の経緯からお話しします。

この本は、忙しい日々のなかで効果的に資格勉強を続けるコツ・心構え・テクニクだけでなく、資格を大量に取得したことで人生がどのように変わったかをお伝えしたいと思ひ、資格勉強の時間の合間を縫って執筆しました。

資格の可否に直結する勉強法のほか、限られた日々の時間を効率よく過ごす時間術など、資格取得から得られた個人的な経験やノウハウなどを、幅広く皆さんへシェアして

います。特に、資格試験を受ける前の**その資格の選び方**や、取得後の**活かし方**についてはあまり語られていないと思いますので、ご注目いただけると嬉しいですよ。

各項目は数ページと短くまとめられており、ちよつとしたときに読めるようになっていきます。また、ジャンルごとにまとめてありますが、どこから読んでも大丈夫です。まずは目次をご覧ください、興味のあるところから読んでみてください。

本書の内容には、自分の中では意識せずに行動・実践していることも多く、執筆にあたり改めてそれらをアウトプットするのは、意外に難しいものでした。どうにかそれらをひねり出し、なるべく客観的になるよう、エッセンスを抽出したのが本書です。「私だからできる(できた)」ではなく、「**誰にでもできる**」内容となるよう心がけました。資格取得を目指す方はもちろん、資格を仕事に繋げたい方には、特に本書を読んでいただきたいと思っています。また、士業をはじめとした、資格を使った仕事を既にしている方にも、なんらかのヒントになるはずです。

最後になりますが、本書を手にとっていただいたことに、お礼を申し上げます。興味を持っていただけただけでも、大変嬉しく思います。本書の100項目の中には、きつ

と毎日に役立つ発見があるはずで、そして、本書を読み終わった後には、今までとは違った資格との関係を築いていけるでしょう。

本書が資格取得に興味のある方の背中を押ししたり、資格勉強中の方の励みになったりするものであれば、こんなに嬉しいことはありません。

令和5年6月

林 雄次

## 目次

まえがき……………001

### 第1章

## 資格を学ぶ前に

### 資格を使う、考え方

01 そもそも資格を取る理由を  
意識する……………016

02 既存の枠組みから外れて  
オンリーワンの存在を目指す……………018

03 自分の強みを見つける……………021

04 「出過ぎた杭」を目指す……………024

05 幅広くインプットする……………027

06 インプットと日頃の観察で  
良質なアイデアを出す……………030

07 一期一会のチャンスをつかむ……………032

08 目標達成前に、次の目標を立てる……………033

09 学ぶことは、生きること……………034

資格の選び方

17	資格の探し方	052
16	資格の組合せ術「引き算」	050
15	資格の組合せ術「割り算」	048
14	資格の組合せ術「掛け算」	046
13	資格の組合せ術「足し算」	043
12	変わった資格で特徴を出す	041
11	関連資格をまとめて取る	039
10	簡単な資格も役に立つ	037
19	ネガティブサーチする	057
18	体験談は補正して考える	055
24	「明日から頑張る」では、 結果は出ない	068
23	わざと中途半端でストップする	066
22	まず行動することで、 やる気生まれる	064
21	わからないのは、当たり前	062
20	合格率を気にしない	060
	モチベーション	

---

25 「ちょい足し」で習慣化する……………069

26 成果が出るのはゆっくり……………071

27 模擬試験の得点を  
前向きにとらえる……………073

28 試験評論家にならない……………075

29 自分へのご褒美を有効に使う……………076

30 コツや近道だけを探さない……………078

---

## 第2章

### 資格学習&取得術

#### 時間術

31 「時間がない」ときはまず、  
なにかを「やらない」決断をする……………082

32 仕事・勉強を生活サイクルの  
一部にする……………084

33 朝に勉強して、午前中に  
クリエイティブな仕事をする……………086

34 午後に定型的な仕事をして、  
夜はボーナスステージ……………090

35 週末の午前に集中する、  
仕事の合間にリフレッシュする……………092

---



36 使っている時間を記録する……………094

37 隙間時間を活かす……………097

38 あえて「余白時間」をつくる……………099

39 三段階のリフレッシュを意識する……………101

40 睡眠にこだわる……………103

41 余裕を持って日々過ごせる  
「3日ひとまとめ法」……………105

42 スマホは常にサイレント設定……………107

43 自分に合ったタスク管理をする……………108

## 効率的な学習

44 計画が一番大事……………110

45 計画は細かくし過ぎず、週単位で……………112

46 最初に使う教材は試験問題……………114

47 小学生に教えるつもりで学ぶ……………116

48 暗記力・記憶力を高めるには……………118

49 短時間でも意味はある、  
むしろ効率アップ！……………122

50 不安になっても回答を変えない……………124

51 奥の手「見ただけでわかる  
選択肢」……………125

---

58	資格を使って稼ぐには	139
57	資格で開業・独立するには	136
56	資格だけで名乗らない工夫	135
55	資格で生まれ変わろうとしない	133
54	資格取得を周囲に知ってもらおう	131
	資格を取った後に	
53	見直しのセオリー	129
52	得点アップに一番効く方法とは	127

---

63	速さは最大の武器	151
62	知識を縦割りで考えず、 他分野に応用する	149
61	種をまき続ける	146
	士業のあれこれ	
60	商標登録する	143
59	大量の資格の管理術	141

---

### 第3章 資格を仕事にする

64 見た目を意識する……………153

情報収集&発信術

65 名刺を工夫する……………155

73 Googleアラートで情報収集する……………176

66 印象を残すノベルティ……………158

74 音声入力する……………178

67 交流会や土業の会に参加する……………162

75 SNS投稿のマイルールをつくる……………180

68 自分の時間単価を判断基準にする……………163

76 人前で話すときは  
3つの目線を持つ……………184

69 スタッフに任せる……………166

77 リアルセミナーでは動きと発声に  
気を使う……………186

70 外注する……………168

78 セミナー資料には次に繋がる  
要素を盛り込む……………189

71 依頼を断る基準を持つ……………170

79 オンラインセミナーでも  
試行錯誤する……………191

72 値下げを求められたら提供する  
サービスを減らす……………173

---

85	パソコンは3年以内に買い替える……	204
	<b>仕事環境整備術</b>	
84	作ったコンテンツを使いまわす……	201
83	文章を書くときは 想定読者の姿を思い浮かべる……	200
82	台本を作らない……	198
81	音声配信だからといって 話し過ぎない……	196
80	音声配信ではわざと クドい話し方をする……	192

---

90	「自動化サービス」で ウェブサービス間のコピーを 不要にする……	215
89	スマホだけで仕事を片付ける……	213
88	いつでも電源を確保する……	211
87	マルチキャリアを徹底する……	209
86	PCセットアップは マニュアル作成のチャンス……	207

---

## 第4章

# 僧侶資格からの学び

---

97	行動の結果としての報い	234
96	すべては変化していくもの	231
95	自力と他力	229
94	期待しすぎない	226
93	僧侶になる「得度」とは	224
92	僧侶になるまでに学ぶこととは	220
91	資格勉強を続けていたら 仏教に行きついた	218

---

98	ご縁を大事にする	236
99	お釈迦様のように、 自分と向き合う	237
100	僧侶になって変わったこと、 変わらないこと	239
	あとがき	242

---

# 第1章

## 資格を学ぶ前に

COI.  
【パソコン】  
【イザ-検定】  
【インターネットにおける】  
【管理】 人事評価者検定初級 ワークルール検定中級 ワークルール検定初級 緊急時避難誘導員 防災コンシェルジュ CSR検定4級 eco  
【ECKER CDA 心理相談員 メンタルヘルス・マネジメント検定Ⅱ種 メンタルヘルス・マネジメント検定Ⅲ種 メンタルケア心理士 メンタルケア  
【ア-ケアストレスカウンセラー 若少年ケアストレスカウンセラー 高齢者ケアストレスカウンセラー 企業中間管理職ケアストレスカウンセラー ケアス  
【- ころ検定2級 ころ検定3級 ころ検定4級 心理カウンセリクススペシャリスト メンタルヘルス・スペシャリスト メンタルトレーニングスペシャ  
【カウンセリクススペシャリスト コミュニケーションスキルスペシャリスト マインドフルネスコンサルタント アンガーマネジメント 心理&WEBカラ  
【ルドコーチングマイスター 食品衛生責任者 産師士検定2級 産師士検定3級 マーケティング検定3級 実践マーケティング検定3級 初級  
【-資格試験3級 プレゼンテーション検定準2級 プレゼンテーション検定3級 プレゼンテーション検定準3級 SNSリクマネジメント検定 初級  
【-ト検定 クラファン検定 通販エキスパート検定2級 通販エキスパート検定3級 通販エキスパート検定カスタマー・セントリシティ ファイナンス  
【(AFP) ファイナシャル・プランニング技術士2級 会計ソフト実務能力検定1級 日商簿記検定2級 日商簿記検定3級 日商簿記検定初級  
【検定原簿計算初級 こどものお金先生検定3級 銀行事務検定CBT DXサポート 生命保険協会一般履歴試験 知的財産管理検定2級  
【務検定2級 ビジネス実務法務検定3級 ビジネス実務与信管理検定試験3級 ビジネス事務検定 事務スペシャリスト テレワーク検定 1級  
【- 在宅ワークスペシャリスト QC検定4級 秘書検定2級 秘書検定3級 サービス接客検定2級 サービス接客検定3級 おもてなし学検定  
【学検定2級 おもてなし学検定3級 秘書検定2級 秘書検定3級 ユーザルマネージャ検定3級 マナーインストラクター 判断力検定初級 人間  
【級 人間力検定初級 社会人コンプライアンス検定 社会人ホスピタリティ検定【実践】 社会人ホスピタリティ検定 社会人常識マナー検定  
【級マナー検定3級 マナー・プロトコル検定3級 ニュース時事能力検定3級 ニュース時事能力検定4級 コミュニケーション検定初級 きもの  
【日本酒検定2級 日本酒検定3級 日本酒検定4級 漬物検定2級 漬物検定3級 漬物検定4級 四字熟語検定1級 四字熟語検定準1級 四字熟  
【熟語検定3級 四字熟語検定4級 敬語力検定準1級 敬語力検定2級 敬語力検定3級 敬語力検定4級 略語検定1級 略語検定準  
【2級 略語検定3級 ことわざ検定4級 ことわざ検定5級 英検3級 英検4級 みんかの外国語検定 安全運転能力検定3級 安全運転能  
【力検定取扱者(乙種1期) 危険物取扱者(乙種2期) 危険物取扱者(乙種3期) 危険物取扱者(乙種4期) 危険物取扱者(乙種5期)  
【(乙種6期) 危険物取扱者(丙種) 第二級陸上特殊無線技士 第三級陸上特殊無線技士 第二級海上特殊無線技士 第三級海上特殊  
【フェア無線(3級) アマチュア無線(4級) 畑田士 潜水士 PADIアドバンスオープンウォーターダイバー PADIディブダイバー PADIオ  
【ダイバー PADIドライビングダイバー PADI AWARE サブの保護 PADIデジタルアンダーウォーターフォトグラファー サービス介助士 脚  
【症介助士 スマート介助士初級 終活ガイド2級 終活ガイド3級 終活ライフコーディネーター シェアリング・マイスター シェアリング・  
【コーディネーター2級 共生社会コミュニケーション検定試験 ユニバーサルマナー検定3級 おひとりさま検定 予防医療検定 上級救命技能 ス  
【初級 ビンクリボン検定入門コース グリーンリボン検定 リンケア検定2級 口腔ケア検定3級 歯みがき検定マイスター 歯みがき検定1級  
【2級 歯みがき検定3級 メディカルハープ検定 メディカルハープコーディネーター ハープ&ライフコーディネーター ハープ&ライフ検定 アロマ&  
【環境カリオスタ検定 ナチュラビュティタリスト検定 スローライフマイスター検定 ラオ体操指導員 日本健康マスター検定エキスパート  
【レベル検定ベーシック 健康管理検定2級 健康管理検定3級 栄養検定3級 栄養検定4級 食育栄養コンサルタント 食生活アドバイザー3級  
【- ライトスポーツ- 脳筋、漢方検定 迎検定3級 入浴検定 睡眠健康指導士 睡眠検定1級 睡眠検定2級 睡眠検定3級 睡眠検定  
【リソルト ダイエット検定3級 ダイエット検定2級 筋肉のこと知てますか検定3級 筋力スペシャリスト 資格診断アドバイザー検定3級 姿勢  
【色彩検定2級 色彩検定3級 色彩検定UC級 色彩士検定4級 パーソナルカラー実務検定3級 美術検定3級 日本化粧品検定3級  
【- コスメイスター- ライト スキンケアマイスター メンズメイク検定3級 整理収納アドバイザー2級 デジタル整理アドバイザー2級 ライフオーガ  
【化収納スペシャリスト お掃除プロフェッショナル 掃除能力検定2級 掃除能力検定3級 掃除能力検定4級 掃除能力検定5級 靴磨き知  
【取級アドバイザー) サウナ・スパプロフェッショナル サウナ・スパ健康アドバイザー サウナエキスパート 温泉栄養指導士 温泉ソムリエ検定  
【の宿おもてなし検定2級 日本の宿おもてなし検定3級 山の知識WEB検定ゴールドコース 山の知識WEB 検定シルバークース 山の知識W  
【コース 初級バーベキューインストラクター 晴れ男・晴れ女認定試験 日本城郭検定オンライン入門級 世界遺産検定2級 世界遺産検定3  
【定4級 全国道の駅検定 東京シティガイド検定 名古屋観光検定上級 名古屋観光検定初級 京都検定3級 福岡検定初級 軽井沢WEI  
【「お伊勢さん」初級 エイサー検定1級 エイサー検定2級 エイサー検定3級 ハワイスペシャリスト検定中級 ハワイスペシャリスト検定初級  
【SA) 料飲サービス検定 ワイン品質鑑定士 ワイン検定シルバークラス ワイン検定ブロンズクラス ワインマイスター ワイン検定3級 ワイン検  
【定5級 ワインナビゲーター 日本酒スペシャリスト 日本酒検定3級 日本酒検定4級 日本酒検定5級 日本酒ナビゲーター 焼酎検定3級 焼  
【酎検定5級 ウイスキー検定2級 ウイスキー検定3級 カクテル検定3級 カクテルマイスター 日本ビール検定3級 日本茶検定1級 茶道道  
【道文化検定4級 料理検定2級 料理検定3級 菓子検定2級 菓子検定3級 チョコレート検定中級 チョコレート検定初級 プレチオ  
【ク検定 寿司検定 日本ラーメン検定初級(ラーメンスト) おにぎり検定(オニギリスト) 唐揚検定(カラゲジスト) 車カッツ検定(車カッツマイスター  
【- アンパサダー検定 タマリ工検定「一ツ屋タマリ工」 おんご検定 洗沢栄一検定初級 習ムリイバーシク 風水&パワーストーンコンサルタント  
【が検定 いぬ検定初級 庭解き能力検定7級 レザーソムリエBasic フォトマナー検定3級 学び直し&独学アンパサダー検定 集中力検定  
【検定参級 神社検定初級 豆腐検定3級 豆腐検定4級 豆腐検定5級 餅送儀礼マナー検定2級 日本仏教検定2級 日本仏教検定3級  
【ナビゲーター 借宿 お客様対応専門員(CAP) 予防医療アンパサダー ねご検定 システムキーテクト 健康介護コンシェルジュ サウナ・入(健  
【全 コーシエエグゼクティブ 健康経営エグゼクティブアドバイザー カラダの健康学 無条件で健康学 無条件で健康学 無条件で健康学

## 資格を使う、考え方

### 01 そもそも資格を取る理由を意識する

本書のテーマである「資格」について詳しくみる前に、そもそも資格を取る理由・動機について、あらためて考えてみましょう。

私の考える、わざわざ資格取得を目指す最大の理由は、「資格は**第三者認証**だから」です。仕事でも学びでも、多くの場合その結果は、会社や学校の中、つまりクローズな場で評価されます。品評会や競技会など、オープンに評価を受ける場合もありますが、そういった機会に恵まれることはそれほど多くありません。それに対して、資格はオープンな場での

第三者による評価を、自分のタイミングで選んで受けることができます。

私が初めて資格を取ったのは、中学生のときでした。化学部に入っていて理科系への関心が高まっていた当時の私に、顧問の先生が危険物取扱者の資格取得を勧めてくれたのがきっかけです。興味を持っている分野について学ぶことができ、大人に混じって試験を受けて合格した経験は、成功体験として強く印象に残っています。

たとえ何歳になろうとも、誰かに認められることが嫌いだという人はいないでしょう。合格によって一定の知識レベル等を認証する資格の仕組み自体が、私達のモチベーションを上げてくれるはずです。

もう一つ、資格取得の大きな理由・動機づけとして、「**知的好奇心**を満たしてくれる」ということが挙げられます。これは個人的なものかもしれませんが、私にとって、新しいことを知ることができる勉強というのは、基本的に大きな喜びなのです。放っておいたら、いくらでも勉強してしまうかもしれません。

そんな私にとって、さまざまな世界を見せてくれる上に、形を残してくれる資格取得は、最高としか言いようがないわけです。



## 02 既存の枠組みから外れて オンリーワンの存在を目指す

いま現在、資格勉強をしているという方にも、それぞれに理由があることと思います。例えば会社での評価・報酬アップというのも、立派な理由・動機です。そもそも資格勉強に取り組み理由を意識する（自分の軸を持つ）ことが、勉強への意欲に繋がります。

私は社会保険労務士（社労士）として独立する以前、某大手システムインテグレーション企業で、システムエンジニアをしていました。

当時は就職氷河期で、たとえ大手企業であっても、たしかな安定など存在しない時代でした。そのため私は学生のころから、1つの会社に生涯勤め続ける気はありませんでした。就職後も、これからの時代に1人の仕事人として活躍し続けるためにはどうしたら良いのか、模索する日々を過ごしました。数多くの同僚エンジニアがいる会社において、普通のやり方で仕事している限り、同僚でも担える代替可能な仕事しか担当できません。

そこで私は、社内でオンリーワンの存在になることを意識して、エンジニアと並行して、社内講師・営業・企画・マーケティングなどのさまざまな仕事にも挑戦しました。

一般にエンジニアといえば、社内ですらモニターと向き合っているイメージがあるところですが、私はあえて「外に出ていく」タイプの、自分らしい新たなエンジニア像を目指したのです。その結果、エンジニアの同僚と同列で評価されるフィールドから抜け出すことができ、会社から「この仕事は林に担当させたほうが良い」といわれるような、他にはいないオンリーワンの社員という評価をされるようになりました。

エンジニア時代にたどり着いたこの生存戦略を、士業（社労士や行政書士など）として開業した今もお、私は意識し続けています。

士業資格の大半は業務独占資格であり、その資格者でなければ、法律に定められた業務を担えません。そのため、プレイヤーの激しい入れ替わりが起きづらい業界構造となっています。外部から見ると、「士業は安定している」とみられがちです。

ですが、法律で業務の枠組みが規定されているからこそ、ひとたびその枠内に入った後は「同一士業がほぼ同質化してしまう」という問題があるのです。

社労士でいえば、労働問題が得意なのか、年金相談が得意なのかは大きな違いですが、業界外から見ればそれも大した違いではありません。大多数の人にとってはどれも同じ「社労士」であり、できることもほぼ一緒だと思われているものです。

そのような士業の業界においても、オンリーワンの存在となり、同業他者と被らず自分らしいフィールドで仕事をしていくため、私は士業以外のスキル（ITやDXの知識であったり、まったく異なる分野の資格であったり）の**かけ合わせ**と、その**PR**を大切にしています。

なお、士業が「既存の枠組みから外れてオンリーワンの存在を目指す」ことには、価格競争に巻き込まれにくくなるというメリットもあります。

他事務所と変わらないサービスしか提供できないでいると、価格でしか差別化できず、いつしか過度な価格競争に巻き込まれてしまうものです。

一方、オンリーワンの存在となることができれば、事前にこちらのスキルやサービスに価値を見出した上での依頼が大半になります。価値に見合った金額であれば、値下げの必要などありません。むしろ、ある程度の金額に設定したほうが、成果を期待してもらえ、ということもあります。

## 03 自分の強みを見つける

あなたは、自分の強みを把握していますか？

かくいう私自身も、開業当初は全くわかっていませんでした。そもそも、会社員として勤めているときに求められる「強み」と、会社の外で自由にビジネスをするときの「強み」は、全く異なるものです。後者がいわば真の強みなのでしようが、会社員経験しかない中で、兼業として自分のビジネスを始めた私には、それを探す方法が全くわかりませんでした。

そんな私ですが、兼業としての開業当初、交流会などで知り合っただけかお会いした方から、私の「強み」についてアドバイスをいただいたのです。それは、「林さんのように『デジタルに詳しい』と『社労士』を両立している人は、いないのではないですか？」というものでした。たしかに、エンジニア兼コンサルタントとして大卒で入社して以来ずっとITに関わっている経験と、アナログな印象が強い士業を両立しているのは珍しいとはいえ

るでしょうが、当時の私には、このアドバイスは正直あまり響きませんでした。

かといって、他に特にアピールできる材料もなかったので、半信半疑ながら「デジタルに詳しい社労士」と言い始めました。この時点での私の認識としては、「こんな組合せ、はたして興味を持つ人などいるのだろうか？」という程度で、全くピンときていませんでした。

ところが、これを言い始めてみたところ、それまでどこからも見向きもされなかった状態とは大違い。世の中から大いに興味を持っていただけようになり、どんどん仕事が増えていきました。

今では「デジタル士業<sup>®</sup>」として、この点を前面に押し出すまでになりました。

当時の私自身にとって、デジタルに詳しいというのは、あまりに当たり前な感覚だったのです。息を吸うように、意識すらしない（意識できない、が一層近いかもしれません）ことにこそ、**真の強み**があります。他人には大変なことが、意識せずにできる。それこそが、真の強みなのです。

# 林 雄次

1980年生まれ、東京都足立区出身。筑波大学附属高校卒業後、社会福祉を志し、淑徳大学にて社会福祉を学び社会福祉士の資格を取得。

卒業後はITを通じて多くの方に役立つべくIT関連企業で1000社以上の中小企業の業務改善に従事。

エンジニア教育の講師として多くの資格取得を経て、社労士・行政書士として「はやし総合支援助事務所」開業。

本業では、中小企業診断士、社労士、行政書士、情報処理安全確保支援士等として企業向け支援を行いつつ、保有資格・検定は400を超え、「資格ソムリエ」としてさまざまなメディアで活躍中。

日本パラリンピック委員会ハイパフォーマンススマネジメントチーム情報・科学スタッフ  
東京都社会保険労務士会 デジタル・IT化推進特別委員